

天文学とプラネタリウム

第109回



今月のお題

星空月報、そして本郷宇宙塾



天プラでは、4月からふたつの新しい講座をスタートさせました。開催までの経緯も含めてご紹介します。



高梨直結 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

2011年4月から2年間実施してきた「まるのうち宇宙塾」ですが、今年の3月をもっていったん終了となりました。まるのうち宇宙塾では、東京都心で働く方々に天文学について学んだり語り合ったりする場を提供する事を目標に活動してきましたが、2年間計34回のべ1,000名を超える方が参加し、その目標はなんとか達成出来たのではないかと思います。講師からの30分程度の話題提供の後に60分間の質疑応答をしていくという、他であまり類を見ないハードなイベントでしたが、参加者の皆さんに支えられてユニークな場となったと思います。最終回では、インドネシアからの留学生の方に来ていただき、日本語と英語入り交じえて超新星研究の最前線についてトークしてもらいましたが、いつもにも増した盛り上がりを見せ無事終了と相成りました。さまざまな形で関わって下さった皆さんに御礼申し上げたいと思います。

まるのうち宇宙塾を超えて

私たちがまるのうち宇宙塾を終えることにし

たのには、いくつか理由があります。そのひとつは、何度も通って下さる熱心な方が増えたことです。中には30回以上通って下さった超常連さんもいて、質問も天文研究者がぶつけるような高度なものもばしばしば飛び交います。これはもはや「あまり天文学に触れる機会がない人にも、仕事帰りに気楽に天文学宇宙の話を楽しんでもらう場所があったらいいな」という軽いノリでは対応出来ないレベルに達したと判断し、まるのうち宇宙塾のディープな部分とライトな部分を分けて、それぞれを新イベントとして独立させることにしたのです。

まずはライトな方から。元々の趣旨の通り、丸の内界隈で働いている方を対象に、星空や天文学にライトに触れることができる企画として、「星空月報」というタイトルのイベントを始めることにしました。内容は、各月の星空の楽しみ方や、そこから天文学的な見方をお話するというもの。最近ちょっと宇宙とか星空とか興味ある、といった方を対象としたものです。私たちににとっては、まあ経験済みの手慣れたイベントです。

一方、ディープな方は未体験ゾーン。イベン

六本木天文クラブは毎月第4金曜日にイベント開催!



第1回本郷宇宙塾の様子。この日は黒点について掘り下げました。

トの名前は「本郷宇宙塾」。若手研究者を招いて議論するのはまるのうち宇宙塾のスタイルを踏襲していますが、よりディープに徹底的に掘り下げていきます。参加者にはある程度の基礎知識を前提とし、よくわからなくてもとにかくアグレッシブに食らいついていく事が期待されています。一般向けの講座では得られない刺激を得たい方に向けた講座になります。

いずれの講座も4月からスタートしましたが、興味がある方はぜひ一度覗きにいらして下さい。大丈夫、怖くない(たぶん)。

それぞれのイベント詳細はこちらから!

- ★ 星空月報 www.tenpla.net/hoshizora
- ★ 本郷宇宙塾 www.tenpla.net/hongou